

第4期四谷地区協議会 平成24年度第3回 観光まちづくり実行委員会 会議録

開催日	平成24年7月18日(水) 16:00~18:00		
会場	四谷特別出張所 会議室		
出席者	区民	4名	他 出張所職員2名

主なテーマ

1、「まち歩き」(7月7日開催)の振り返り

2、四谷地域勉強会(第1分科会)と同時開催するイベントについて

1、「まち歩き」(7月7日開催)の振り返り

平成24年7月7日(土) 観光まち歩き参加者:7名

◆振り返りとガイドについての意見交換

○本来荒木町と甲州街道は(コース設定が)別だが、今回一緒に組み込んでみた。両方の雰囲気は伝わったかと思う。

○ポイントになっている場所は普段から良く歩いていたが、(まち歩きでは)丁寧に歩くことを心がけ余韻を残した紹介をしていきたい。今回のように歴史博物館をポイントに入れると、ボリュームがあり過ぎて時間が足りないと感じる。コース整理を検討していきたい。

○四谷門の銘板前で解説するのは、リアリティが感じられる。今後もポイントとして視点に入れたい。思いのほか時間がかかり甲州街道に出られなかった。

歴史博物館は確かに時間が必要。コースの最後に入れて、説明を伺った後に解散として、後は自由見学とすることもよいと思う。参加者の興味もいろいろとあると思うので次回試みてみたい。

○自分で(ガイド用)資料も整理したりしているが、自分がどう役立っていくか戸惑いがある。以前から提案が出ているように子どもに向けて展開していくこともひとつだと思う。とにかく、今はそのための準備期間と考えている。

○東京都の観光に携わっているS氏に都内まち歩きガイド状況に訪ねたところ、どこの地域もほとんど2,3名いればよしだそうです。日本橋でのガイド3名程度。神楽坂も2,3名とのこと。そんなにたくさんの方が携わっている状況ではない。

また、ガイドの個性により人気が出てしまう場合がある。

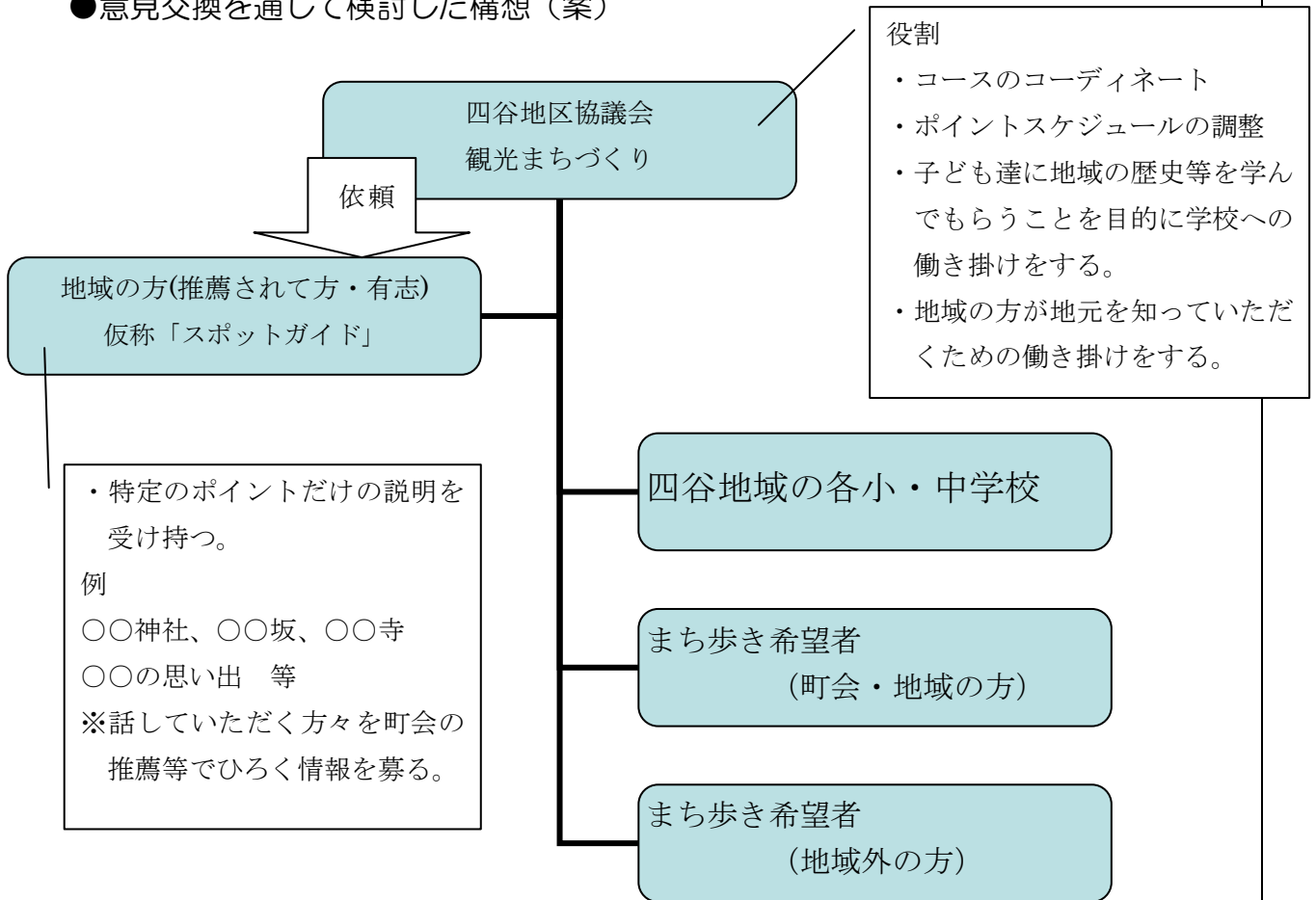
(長く継続するために)ガイドが疲弊しないよう気も使った方がよい。

他所のガイド案内を(体験)見学させていただき勉強することも必要とアドバイスされた。人々に人気があり、賞賛されることの工夫を学ぶことが必要かと思う。

○私たちは、このように活動を続けているが(四谷で)ガイドができる人が実際に出てくるのか疑問に思う。←この意見についての意見交換は裏面に続く。

■四谷における「観光ガイド」の在り方を再検討する。(意見交換)

- 学校教育の場と連携できるよう、働きかけていく。(別紙参照)
- 四谷小学校ではすでに、フィールドワークを行った。その時の手法を取り入れたい。
- これからの四谷のためにも若い方に地域を知っていただきたい。
- コース全部のポイントを説明できるようになるのは難しい。
オリジナルガイドになれる人は今後も出てこない気がする。
それよりも、ポイントごとに説明していただける人を発掘すべきではないか。
- 例えば、内藤神社なら〇〇さんなどのように、専門的に、その部分だけの案内なら負担も少ないし、地域ならではの案内になると思う。
- 実行委員会がプロデュースし、お願いした(仮称)「スポットガイド」と連絡を取り段取りを決めていくようなイメージで動けばよいと思う。
- 「スポットガイド」には継続してお願いできるよう、システム化して薄謝も検討したい。
- 拘束(ガイド時間)が長いと、引き受けづらい。最初に30分、10分と決めて依頼すれば負担が少ない。
- 四谷を識る勉強会等も連携した形で支えたい。
- 9月13日の町会連合会で情報提供をお願いしたい。
- 意見交換を通して検討した構想(案)



構想案に関する意見交換

【ガイドについて】

- ガイドの掘り起しを、コースポイントを全て語れる人ではなく、(部分的に)一か所だけ語れる方に依頼していく方向性にシフトしていく。
- 他所のように、案内(協議会委員が)する時の衣装(例、浴衣)も工夫してみてもいいかがか。
- 説明者は町会よりご推薦いただきながら、個別にご説明させていただきたいと考える。
- 地域自らが伝える形を大切にしたい。
- 各町会より5名程度推薦させていただきたいと考える。(9月13日)
その後実際にその方々にお会いして、ネットワークを作りたい。

【伝えたい情報について】・・・主に小、中学生を対象として意見が交換された。

- インターネット情報ではない、生の声を伝えることを目的としたい。
- 神社仏閣の祭礼等は宗教色があるという理由で学校現場ではタブー視されてきた。しかしながら昨今は地域の風習(郷土行事)として話せるようになってきた。
特定宗教だからという以前に、その土地に感謝する意識として知って欲しい。
- 学校教育では「調べ学習」から出ることを怖がり困難と考える傾向がある。
協議会の存在価値のひとつとして、町の人が自慢にしている(地域の歴史等)を伝える活動もあると思う。(スポットガイドの推進は)協議会が本来の役割を果たす一つの活動になるのではないか。
- 地域に伝承されていることを、歴史の一部として伝える大切さを見直したい。
- 先生方は四谷に住んでいらっしやらないからある意味関心が薄い。でも地域では、四谷地域に住んでいる子供たちに伝えたい事がある。その温度差を埋めていきたい。
- 地域協働学校、PTA、スクールコーディネーターとの連携も必要になってくる。
- スクールコーディネーターを通し、(2, 3, 6年の授業で)話をすすめていきたい。

【決定事項】

- (本日より)夏休みにはいる前に各学校(教務主任等)に対し、「まち歩き手帖」を参考提示しながら、今後の受講委員会構想をお伝えする。
町会連合会(9月13日)では、学校への提示を話ながら協力要請を行いたいと考える。※次回の町会連合会に学校長が出席するので、双方にアピールできる機会である。

2、四谷地域勉強会(第1分科会)と同時開催するイベントについて

○説明 第1分科会リーダー別紙企画案のとおり

※事前に募集する写真について

- ・町会誌の活用もよいのではないか。
- ・実物投影機については学校側から拝借できるか現段階では未定。

◆次回の観光まちづくり実行委員会 8月29日(水) 14:00~15:45